



ニュース

平成18年1月4日

社長年頭訓示

住友不動産株式会社
社長 高島準司

本年は、「巡航成長三カ年計画」の最終年度を迎える。本計画の目的は、積極路線を堅持しつつ、成長を巡航速度にコントロールし、財務体質強化を一段と進めることにある。目下のところ順調に推移しているが、気を緩めることなく一致団結して、所期の目標を達成しよう。

振り返って昨年の日本経済は、長く続いたデフレを克服し、漸く本格的な回復局面を迎えたと言ってよい。分譲マンション市場は引き続き堅調であり、オフィスビル市場も企業の業績回復を背景に完全に復調し、優良ビルについては貸し手市場に様変わりした。

しかしながら、昨年は耐震強度偽装事件をはじめ、企業にとって信用が如何に大切かを痛感させる事件が相次いだ。本年は、これを他山の石として、当社がこれまで培った信頼関係を維持し、さらに堅固なものにすべく、全社あげて取り組んでいかなければならない。

昨年末の統計で日本は初めて人口減少に転じた。日本の社会は今急速に構造を変え始めている。好景気、好業績に浮かれていてはならない。好調のなかに次の嵐の予兆が潜んでいる。環境好転に安堵することなく次に来る嵐に備えたい。大胆に、かつ非常識に挑戦する意欲を持って。

以 上